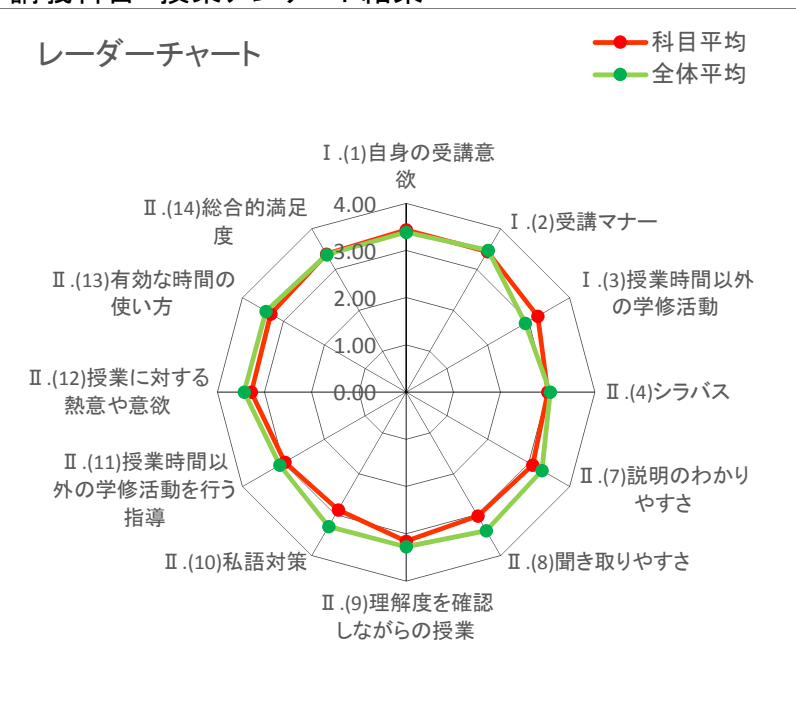
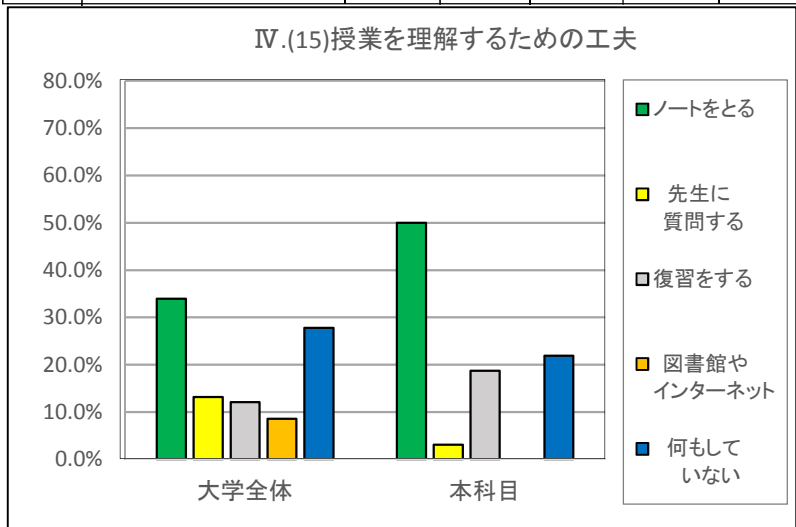


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	50.0%	3.1%	18.8%	0.0%	21.9%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	31102
科目名	英語Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

難易度についての評価はクラスによってはばらつきが見られ、全体平均とほぼ一致したクラスもあれば、難易度が低いという声が多めのクラスもあった。しかし1年次配当の必修科目であり、英語の学力にかなり問題ありと思われる学生も一部に見受けられたため、どちらかと言えば基礎学力の確認と周知を重視した難易度によるこの授業で、反省点もあるとは言え、おおむね良かったのではないかと思います。

②授業の進め方について

(7)(8)(9)(10)(14)のいずれの項目についても、評価はクラスによってばらつきはあるものの、残念ながらあまり芳しいと言えるものではなかった。そして(10)の私語についても、あるクラスでは普段からやや問題ありと認識してはいたが、アンケートの結果もそのとおりであった。私語が多ければ、説明の分かりやすさと聞き取りやすさ、さらには満足度についてもマイナスの影響が出るのは当然ではないかと思う。特に最後の(14)の満足度については、これもクラスによって差はあるが、私語の少なめのクラスでは、全体平均を少し上回る評価が得られていることから、個々の項目どうしが密接につながっているということを改めて痛感させられた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今年度は新設学の1年次生の授業だったので戸惑いもあり、学生の英語力についてもなかなか把握しづらい面もあったが、これまでにどうにか培ってきた基礎を重視する方法で対処し、また試験前指導を徹底したせいもあり、不合格者も最小限に抑えることができたことは成果であったと思われる反面、クラスによっては難易度的に物足りなさを感じていた学生も決して少なくはなかったようで、またそのことが私語につながってしまった面もあったのではないだろうか。旧2学部と同様、今後は学力格差に起因すると思われるこのような授業のひずみのようなものに適切に対処していく努力が必要であろう。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.44	3.39
	I.(2)	3.44	3.47
	I.(3)	3.22	2.91
受講内容・方法	II.(4)	3.00	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.09	3.32
	II.(8)	3.03	3.39
	II.(9)	3.16	3.27
	II.(10)	2.88	3.28
	II.(11)	2.97	3.09
	II.(12)	3.28	3.43
	II.(13)	3.31	3.43
満足度	II.(14)	3.38	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.36	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.09	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.38	3.36
III.(14)		